

編集後記・・・

■東京の西新宿の一等地のビル内に法律事務所を開き弁護士をしていた溝口敬人氏（実は入来院本家の末裔だった）からお預かりした原稿が本号を持って全て掲載されました。溝口氏は令和5年の暮れに永眠されましたが、彼が記した「入来院」を皆様に読んでいただけることを溝口氏もきつと天国で喜んでくださっていると信じております。また、亡き母貞子から始まったこの小冊子が今年も温かいお仲間のご寄稿のおかげで発刊できたことも天国へ報告いたします。ご寄稿くださった皆さまありがとうございます。令和7年。豪雨と酷暑の夏が過ぎ、この「炉ばたセイ談」発刊の頃には穏やかな風が吹いていることを祈りながら・・・（入来院久子）

■昨年9月に炉ばたセイ談第20号を納入して下さってすぐ、薩摩川内市内にある新大同印刷（株）さんから、都合により今後冊子製本は取り扱わない旨のお話がありました。9月22日に庵主重朝さん宅で開催した炉ばたセイ談会での話を持ち出したところ、ご出席されていた白男川孝仁さんから出水

市内にある丸尾印刷（有）さんをご紹介頂きました。早速、白男川さんにお話を通して頂き、後日細かい打合せにお伺いしたところ、今まで新大同印刷さんにお願ひしていたのと同じ仕様と値段でお引き受けして頂けるということで、第21号の発行となりました。第20号まで、印刷・製本を行って頂いた新大同印刷さん、長い間ありがとうございました。そして丸尾印刷さんこれからよろしくお願ひ致します。そしてこれまで原稿をお寄せ頂いた執筆者の皆さんには、引き続きこれからもご執筆頂きますようお願い申し上げます。（下土橋渡）

「炉ばたセイ談」 第21号

炉ばたセイ談会会長 中西喜彦

編集担当 下土橋渡・入来院久子

事務局T895-1402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

TEL・FAX 0996-44-3586

印刷 丸尾印刷（有）（0996-62-1278）